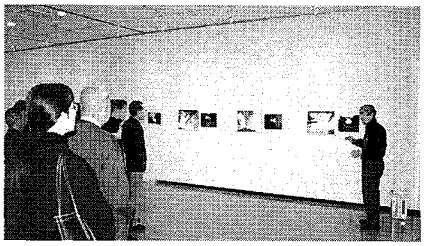
小本 章　展

（1）趣旨

「写真」を手段に作品を制作し続けている小本章（こもとあきら）氏（1935～）は、様々な自然条件のなか、森や川にキャンバスなどを置き、一定の距離から観察して、キャンバスに隠れた背後の自然の色を写し取り、風景を「写真」に切り取っています。その場の全てのものがキャンバスとつながり、風景の一部となって溶け込みます。



作品について語る小本氏

変化し続ける自然の中で、突如あらわれたそれらの物体により、見る者は時に現実と非現実が交差する世界にとまどい、引き込まれます。

美濃加茂市民ミュージアムや日本各地で制作された、写真とキャンバスの組み合わせによる新作を中心に、ドイツ、フランスで制作された大型写真作品を展示いたしました。

（2）会期　　2004（平成16）年2月8日（日）～3月21日（日）
（3）観覧料　　無料
（4）会場　　美術工芸展示室
（5）展示点数　21点

小本 章ワークショップ　展

（1）趣旨

作家の存在を知り、思いを作品から感じ取る、そして心やからだを使ってアーティストといっしょにひとつの作品をつくりあげようと、2003年は「写真」を手段に作品を制作し続けている、小本章氏（1935 ～）を迎えました。夏と秋に開催した、小本章ワークショップでは、森の中で自然の色をつくったり、葉っぱや枝を使って紙の上で自由に表現して、描いたそのままの状態をデジタルカメラで撮影しました。

参加者に語りかける小本氏

ワークショップ参加者の、彩色した作品と写真を組み合わせて、展示いたしました。

（２）会期　　2004(平成16)年3月13日（土）～3月21日(日)

（３）観覧料　　無料

（４）会場　　展示ホール

（５）展示点数　ワークショップ参加者の作品４４点

（６）関連事業

小本 章ワークショップ～自然の色をさがそう～

夏・・・8月16日　　秋・・・11月1日